高都合85万3095石3斗5合5勺9才
村数１,721箇村
天保9年戊戌5月

と書いてあります。
1石は約150kgなので、米に換算して1838年にはおよそ12万8000トンの生産量がありました。ちなみに、令和２年の滋賀県の米の収穫量は15万8300トン。
なお、江戸時代は村ごとに領主が異なり、各藩の領地だけでなく、幕府直轄地（天領・旗本領など）や公家領、寺領、諸藩（仙台藩、大和郡山藩、淀藩など）の飛び地など、複雑に分かれていました。

国絵図の凡例

色付きの〇 …… 村（村名と石高の記載）
黒い太い線 …… 郡境
赤い道 …… 道（太い赤線は街道）
街道を挟む形で描かれる2つの黒点 …… 一里塚

- 川には、橋の長さや川幅（歩渡）の表記。
- 琵琶湖には水上交通路として、主に大津への里程
- 湖岸の港町には「船着」の表記。
- 国境には、至る国名・村名とそこまでの距離及び国境の状況。

北
至 越前（福井）
中河内
北国街道
柳ヶ瀬代官所
至 越前（福井・敦賀）
塩津街道
余呉湖
卍 菅山寺
塩津
木之本
雨森芳洲
西野水道
小室陣屋 ⑨
小谷
至 越前（福井・敦賀）
西近江路
菅浦
海津
西浜
知内
都久夫須麻神社
卍 宝厳寺
竹生島
北国街道
北国脇往還
伊吹山
国友一貫斎 ⑪ ①
春照
藤川
至 美濃（岐阜）
大通寺 卍
長浜
小堀遠州
宮川陣屋
石田三成
若狭街道
至 若狭（福井・小浜）
保坂
今津
藤本太郎兵衛生誕地
柏原御殿
寝物語の里
徳源院 卍
柏原
至 美濃（岐阜）
河原市
醒井
朽木陣屋
中江藤樹 藤樹書院
米原
中山道
番場
沖の白石
多景島
近藤重蔵の墓
大溝陣屋
摺針峠
霊仙山
佐和山城
彦根城 ⑧
鳥居本
白鬚神社
北小松
西近江路
高宮
多賀大社
胡宮神社
中山道
朝鮮人街道
若狭街道
比良山
百間堤
藤堂高虎 ④
甲良宗広
千樹寺
西明寺
木戸
沖島
伊崎寺
愛知川
伊庭御殿
小幡
金剛輪寺
五箇荘金堂
君ヶ畑
榎の一里塚
和邇
安土城跡 ②
観音正寺
百済寺
蛭谷
長命寺 卍
途中峠
老蘇
至 山城（京都）
目牟禮八幡宮
八幡
武佐
八日市
八風街道
至 伊勢（三重）
浮御堂
堅田陣屋
兵主大社
永源寺
八風峠
衣川
大森陣屋
山上陣屋
熊沢蕃山寓居
北村季吟
西教寺 卍
大庄屋諏訪家屋敷
鏡
羽田陣屋（仙台藩代官屋敷）
（千種街道）
日吉大社
永原御殿 ⑦
芦浦観音寺
小篠原
岡本
比叡山延暦寺
日吉東照宮 ⑬
下坂本
守山
石原
今宿一里塚
苗村神社
唐崎神社
天保義民碑
御上神社
三上山
木内石亭宅
三上陣屋
馬見岡綿向神社
日野
仁正寺陣屋
草津
矢倉
三井寺（園城寺）
矢橋
目川
梅の木 和中散本舗 ⑩
石部
御代参街道
大津
義仲寺 松尾芭蕉の墓
善水寺
ウツクシマツ自生地
鎌掛
逢坂山
西寺（常楽寺）
東寺（長寿寺）
東海道
横田の渡し
水口岡山城
至 山城（京都）
膳所城
瀬田唐橋
水口城
水口 ⑤
建部大社
幻住庵 松尾芭蕉の草庵
石山寺 卍
土山
金勝寺
飯道寺 卍
岩間山正法寺 卍
鈴鹿峠
不動寺
信楽（長野）
至 伊勢（三重）
多羅尾代官所

- 江戸時代の城郭や陣屋（天保期になくなっていたものを含む）
- 街道の宿場
- 街道の立場、間の宿（宿場と宿場の間にある休憩所。宿泊は禁止。）
- 主要な村や特徴のある村など
- 絵図上や東海道名所図会などで名所とされている場所
- 主に江戸時代に活躍した著名人の生誕地など
- 神社　卍 寺
- 街道の分岐や道標的な場所
- 主な街道　※滋賀県教育委員会が平成5～18年にかけて実施した中近世古道調査報告書に基づいたルート

【天保国絵図について】
江戸時代、幕府の命で、慶長・正保・元禄・天保の4回、全国規模で国ごとの絵図等が作成されました。この「天保国絵図」は天保6（1835）年に作成が命じられ、同9（1838）年に完成したもので、現在は国立公文書館が所蔵し、重要文化財に指定されています（請求番号　特083-0001）。国立公文書館デジタルアーカイブで、細部を確認することができます。
※原図のサイズは東西337cm×南北511cm。縮尺は、1里を6寸とする約21,600分の1。